

和らぎ 88

YAWARAGI

2020 NO.80



令和2年7月31日

社会福祉法人 和光会

〒431-1101 浜松市西区和光町 517

TEL (053) 486-2804

FAX (053) 486-0149

<http://www.wakoukai-net.com/>



片桐 泉
昭和58年6月30日生まれ
趣味：離島巡り、カメラ

保育を語り合える、同僚性と
帰属意識の高い園づくりを目
指します。

Q3 園の強みと課題を教え
てください

定員20名なので、子ども・職員・
保護者の距離が近く温かなつ
ながりを形成しやすい環境で
す。職員には役割を越えて子
どもに関わるすべての人が保
育者だという考えを伝えてい
ます。また0〜2歳児のみ
園ですので、乳児保育を探究
し深めていくことができるの
も強みです。開園から間もな
いので、いかに保育の質や取
組みについて発信し、価値を
伝えていくかが課題です。

Q4 今後の目標を教えてください

保育士の社会的地位向上に貢
献できるような、熱量のある
園をつくるのが目標です。
そのために、理念に対する共
通意識を醸成しチーム力を育
てること、保育を高めていく
検討と実践のサイクルを定着
させることが必要だと考えて
います。そして、それをシス
テムとしてではなく、職員の
主体的な意識から生まれる文
化として作り上げていきたい
です。

Q1 経歴を教えてください
人と接する仕事が好きで、以前はリフォーム会社やカフェ
で働いていました。28歳の頃、震災ボランティアとして被
災地に入った際に、子どもの存在がコミュニティ全体に活
力を与えていることに感動し保育士を目指しました。保育
園に勤務するようになってからは、さらに教育への理解を
深めるため小学校教諭免許を取得。保育士としてのスター
トが遅かった分、専門職としての自分をもっと高めたいと
考え、和光会に入職しました。

Q2 施設長として、どの様な園づくりをしたいですか？

かわる人すべてが「居場所」と感じられる園にしたいで
す。子どもたちが心から安心して生活できる、保護者が保
育士との会話でほっとしたり子どもの成長を喜び合ったり
できる場所。そして、職員にとってはオープンな気持ちで

東京エリアマネージャー

三軒茶屋わこう保育園 施設長

片桐 泉 × 林 星利佳

Q1 経歴を教えてください

前職では保育園・幼稚園にヨーロッパ
パ製遊具を販売していました。色々
な園と保育環境と一緒に作ること
にやりがいを感じていましたが、
さらにその環境をどのように活用
するかを考えていく事に興味を持
ち、転職しました。

Q2 エリアマネージャーとは、
どのようなお仕事ですか？

保育という視点では脇役ですが、
職員の皆さんがやりがいを持って
子どもたちと日々向き合える環境
を整えることが大きな役割だと
思っています。そして駒沢わこう
保育園と三軒茶屋わこう保育園を
しっかりと繋いでいくこと。財務
や人材、設備等を最大限活用でき
るような視点を東京エリア
を盛り上げていきたいです。

Q3 園の特色を教えてください

0〜2歳の小さな園の為、子どものかか
わりをきめ細やかに、乳児の専門性を高め
られる環境です。また今後の可能性を秘め
るのは「送迎ステーション」という大きな
お部屋。日中は空き部屋になるので、日常
の保育への活用や新たな事業展開など、規
模は小さくても、将来性は無限大です！

Q4 今後の目標を教えてください

人の価値観や生き方が大きく変化している
今、子育てのあり方も多様化しているよう
に感じます。その全ての家庭を支援できる
機能を実現していきたいです。と同時に、
私たちの保育を多くの人に知ってもらふ必
要があると思います。私は現場経験がない
ので、保育士の皆さんの発達を見極める感
性や変化への敏感さにいつも感動してしま
います。この専門性を、子育て家庭はもち
ろん、地域や行政など多方面に発信してい
くことで、園の社会的価値を高めたいです。



林 星利佳
平成3年10月22日生まれ
趣味：美術館巡り、旅行



COVID-19



新型コロナウイルス感染対策

週1回程度開催された「臨時危機管理委員会」は、感染リスクを最小限とするため、東京都を含めた各施設をオンラインでつないでの、緊張感のある会議となりました。「地域の暮らしを支える福祉サービスは、ストップすることはできない。」という理事長の指示のもと、法人が一丸となって衛生物資の調達や職員の応援体制等、事業継続計画（BCP）を検討して参りました。

特に高齢者サービスにおいては、より厳しい基準で対応をさせていただきましたので、ご利用者やご家族の方には大変なご不便をお掛けしました。

終息まではまだ少し時間がかかりそうですが、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。



浜松日体中学校より

生徒が製作した布マスク 190 枚寄贈して頂きました。

地域貢献の一環として休校中の休みを利用した学生の取組み



企業、個人のみなさまより不織布マスク、
手作りマスクなどたくさんのご寄付が届きました。

幼児さんから高校生まで活用させていただいております。



コロナによる登園自粛中に、

子どもに向けて、園での活動（遊びや絵本読み聞かせなど）
を楽しめるよう、ZOOM 配信をしました。

LUNCH TALK

ASAGIRI NO SONO



高齢の皆さんが利用する「朝霧の園」

コロナウイルスを持ち込まない為、
家族や友人の面会や地域のボランティアの受け入れも制限しました。
利用者の皆さんも外出することもできず、
少しでも笑顔が見られる時間を…。
Ncafeのテイクアウトお弁当を食べながら
松本施設長と会話を楽しむ利用者の皆さん
美味しい食事を大切な人たちと一緒に食べることで
元気と笑顔が溢れます。

